

稲畑産業株式会社

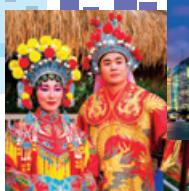
# 株主通信

2019年3月期 第2四半期

2018年4月1日～2018年9月30日

人と人をつなぐ、  
あなたのベストパートナーでありたい。

**IK INABATA**





## 重点分野に注力して、 中期経営計画 NC2020の 達成を目指します

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、  
厚く御礼申し上げます。  
当社グループの2018年4月1日から同9月30日に  
おける事業の概況をご報告させていただきます。

代表取締役社長 **稲畑勝彦**

### 当第2四半期連結累計期間の 概況について

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では、政策や通商問題の動向による影響が懸念されるものの、着実に景気回復が続きました。欧州では、ドイツなどユーロ圏において、緩やかな景気回復の動きがみられました。アジアでは、中国において景気持ち直しの動きがあり、またインドネシアやタイなど新興国においても、景気は緩やかに回復しました。

一方、日本経済は、雇用情勢や企業収益の改善が進む中、設備投資の増加や個人消費の持ち直しの動きがみられ、景気は緩やかに回復しました。

こうした中、当社グループの連結ベースでの売上高は、322,474百万円(対前年同期比5.8%増)となりました。利益面では、主力ビジネスの好調と前第2四半期連結累計期間に欧州子会社で発生した貸倒引当金の計上が当第2四半期連結累計期間はなかったことの影響により、営業利益7,105百万円(同141.7%増)、経常利益

7,154百万円(同112.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益6,247百万円(同128.8%増)と、いずれも過去最高となりました。

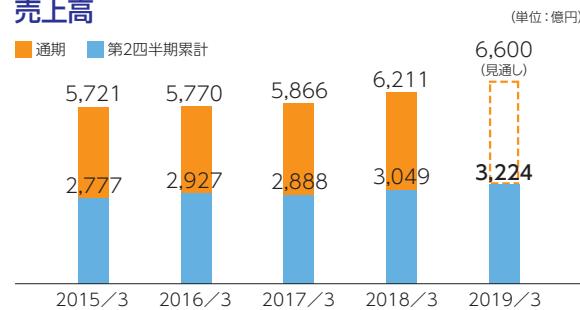
### 中期経営計画 NC2020 2年目の進捗について

当社は、2021年3月期を最終年度とする4カ年の中期経営計画「New Challenge 2020」(以下NC2020)に取り組んでおり、当期はその2年目にあたります。第2四半期連結累計期間を終えた時点での主要事業の進捗状況をご説明いたします。

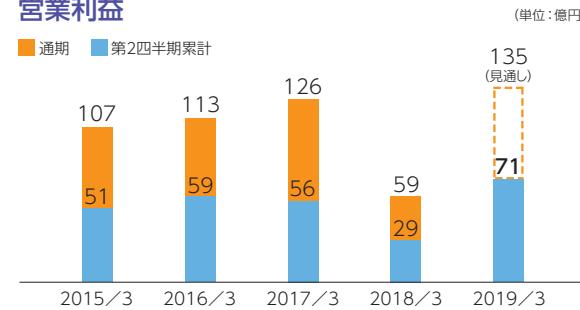
まず、情報電子事業ですが、液晶関連やOA関連などの原材料の販売が概ね好調に推移しました。液晶関連市場の主戦場は、現在、中国にシフトしています。当社では、このNC2020の期間中、液晶市場はTVの大型化などにより引き続き緩やかに成長するとみており、人材や投資など経営資源を投入して、現地パネルメーカーへの販売拡大に注力しています。

### ■ 連結財務ハイライト ■

#### 売上高



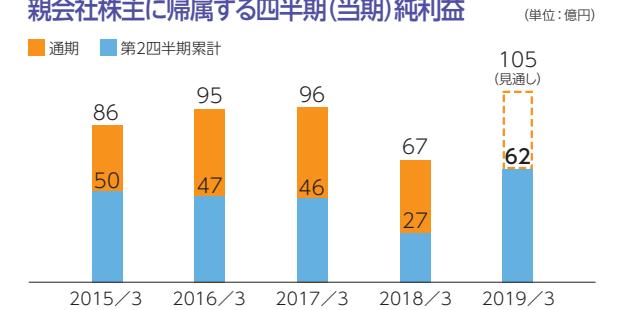
#### 営業利益



#### 経常利益



#### 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



## 株主の皆様へ

To Our Shareholders

次に合成樹脂事業ですが、NC2020の重点分野である自動車分野を中心に拡販を進めています。自動車分野は、市場参入に時間がかかるハードルの高い市場ですが、当社が持つ7カ国8拠点で展開する樹脂コンパウンド事業（製造機能）を重要な武器として、ここ数年、グローバルユーザーに対して地道にビジネス開拓を進めてきました。それが、ここにきて実を結んできており、売上・利益ともに想定以上に進捗しています。

また生活産業事業については、将来の成長ドライバーとして、新しい取り組みを含め積極的に育成しています。例えば農業分野において、国内最大級のブルーベリー農園を北海道に設立し、国内産のブルーベリーの栽培・収穫を進めています。

## 当期の見通しについて

NC2020の1年目の前期は利益面で大幅な計画未達になりましたが、2年目である当期は第2四半期連結累計期間を終えた時点で、売上・利益

ともに想定した計画値の進捗レベルに戻すことができました。引き続き、最終年度の目標を見据え、2年目の計画値達成に向けて、グループ全社をあげて取り組んでまいります。

## 配当について

当期の中間配当につきましては、当初の予定のとおり、1株当たり20円とさせていただきます。期末配当金につきましては、1株当たり25円（中間配当とあわせて年間45円）を予定しております。

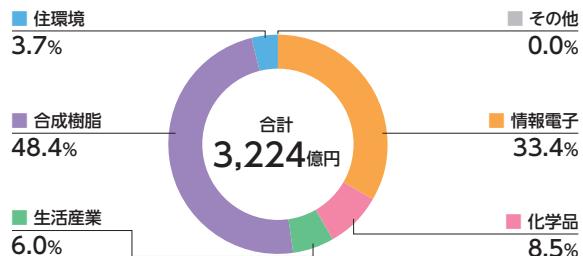
株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

2018年11月

## 連結財務ハイライト

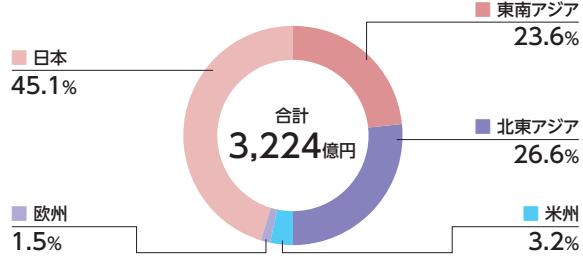
### 事業区分別売上高構成比

(2018年4月1日～2018年9月30日)



### 所在地別売上高構成比

(2018年4月1日～2018年9月30日)



## 特集 IK 稲畑産業グループ会社紹介

# イナバタオプテック株式会社

## 急成長するLEDディスプレイ市場で、世界シェアNo.1\*

ニューヨークのタイムズスクエア、渋谷のスクランブル交差点、建物に取り付けられた巨大ディスプレイに、LEDが使用されているのをご存知でしょうか？今やこのLEDディスプレイは、世界中の街に続々と設置され、市場が急成長しています。

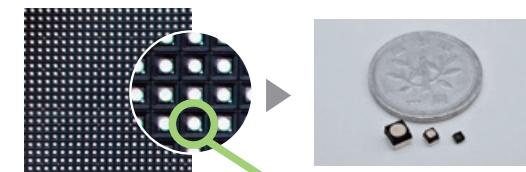
LEDディスプレイで重要な役割を果たすのがLED封止材です。LED封止材は、屋外で雨や風にさらされる光源を守るとともに、その光を遠くまで鮮やかに通す役割をします。この封止材の約半数に、実は稲畑産業グループの封止材が使われているのです。

稲畑産業グループのLED封止材事業は、2002年にヘンケルジャパン社より一部事業を買収したことに端を発します。当時、日本企業がこぞって参入した照明用LEDの市場を選ばず、ニッチで高い技術力が必要なLEDディスプレイ市場に注目し、地道な研究開発を重ねてきました。そして独自の配合ノウハウを組み合わせ、ディスプレイの肝になる風や雨にさらされても本来の色を再現できるLED封止材を開発しました。この特性が、LEDメーカーに高く評価されています。

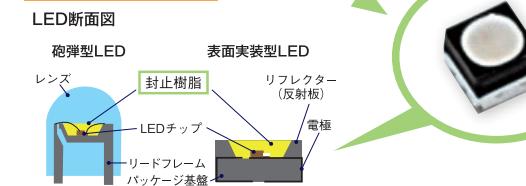
### イナバタオプテック株式会社

所在地/ 神奈川県川崎市  
事業内容/ 光半導体封止樹脂に関する研究・開発・製造及び販売  
設立/ 2017年5月  
代表者/ 代表取締役社長 矢野哲朗  
稲畑産業グループのLED封止材関連の売上高/ 17億円(2018年3月)

### 【ディスプレイとLEDの構成】



### LED封止材とは？



### 新しいラボで真のスタートを切る。

2017年5月に情報電子第一本部から事業を分社化し、イナバタオプテック株式会社を設立。新たなラボができ、開発の質とスピードが強化されました。商社ならではの市場の変化を読み取る力を強みに、今後は車の自動運転やロボット、ウェアラブル端末に使われる光センサーなど、新たな用途開発に挑戦し、社員一丸となって真のスタートを切ってまいります。



研究所の様子

\*各種市場調査データより当社推計

# 連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

## 四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期末 2018年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間末 2018年9月30日現在
流動資産	261,785	266,073
固定資産	90,955	103,112
<b>資産合計</b>	<b>352,741</b>	<b>369,186</b>
流動負債	175,685	174,645
固定負債	34,119	36,433
<b>負債合計</b>	<b>209,805</b>	<b>211,079</b>
純資産合計	142,936	158,107
<b>負債純資産合計</b>	<b>352,741</b>	<b>369,186</b>

(注)2019年3月期第1四半期から「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」等を適用しており、前期に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

## 四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 2017年4月1日～ 2017年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2018年4月1日～ 2018年9月30日
<b>売上高</b>	<b>304,900</b>	<b>322,474</b>
<b>売上総利益</b>	<b>22,011</b>	<b>23,637</b>
販売費及び一般管理費	19,072	16,531
<b>営業利益</b>	<b>2,939</b>	<b>7,105</b>
営業外損益	430	48
<b>経常利益</b>	<b>3,369</b>	<b>7,154</b>
特別損益	2,481	1,748
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>2,730</b>	<b>6,247</b>

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 2017年4月1日～ 2017年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2018年4月1日～ 2018年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	1,581	△ 2,620
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 443	531
財務活動による キャッシュ・フロー	140	△ 3,624
現金及び現金同等物に 係る換算差額	464	190
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	1,742	△ 5,522
現金及び現金同等物の 期首残高	22,935	29,235
連結の範囲の変更に伴う現金及び 現金同等物の増減額(△は減少)	185	122
現金及び現金同等物の 四半期末残高	24,864	23,835

- point 1 固定資産の増加**  
時価の上昇により投資有価証券が増加した等のため、12,157百万円増加しました。
- point 2 純資産の増加**  
利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加した等のため、15,170百万円増加しました。
- point 3 売上高の増加**  
合成樹脂事業の好調等により、17,574百万円増加しました。
- point 4 営業利益の増加**  
主力ビジネスの好調と前第2四半期連結累計期間に欧州子会社で発生した貸倒引当金の計上が当第2四半期連結累計期間はなかったことにより、4,166百万円増加しました。
- point 5 親会社株主に帰属する四半期純利益の増加**  
経常利益が増加したこと等により、3,517百万円増加しました。

# 会社情報 / 株式情報

Corporate Information / Stock Information

## 会社概要

(2018年9月30日現在)

会社名	稲畑産業株式会社
創業年月日	1890年10月1日
設立年月日	1918年6月10日
資本金	93億6千4百万円
従業員数	636名(グループ会社への出向者を含む) [連結4,155名]
大阪本社	大阪市中央区南船場一丁目15番14号
東京本社	東京都中央区日本橋本町二丁目8番2号
名古屋支店	名古屋市中区名駅二丁目27番8号
営業所	松本営業所、九州営業所(霧島市)

## 株式情報

(2018年9月30日現在)

発行可能株式総数 普通株式 200,000,000株  
 発行済株式の総数 普通株式 63,499,227株  
 株主数 12,147名

大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
住友化学株式会社	13,836	22.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,712	4.4
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,490	4.1
JP MORGAN CHASE BANK 380684	2,209	3.6
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 みずほ銀行口再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	1,736	2.8
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,361	2.2
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,231	2.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,207	2.0
稲畑 勝雄	1,161	1.9
株式会社みずほ銀行	1,114	1.8

(注)当社保有の自己株式数(2,110,113株)につきましては、上記の表及び持株比率の計算より除いております。

## 役員

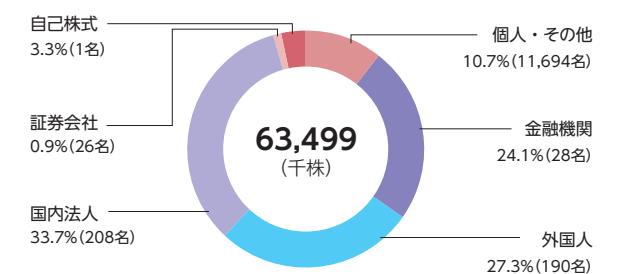
(2018年9月30日現在)

代表取締役社長執行役員	稲畑 勝太郎	常勤監査役	望月 卓
代表取締役専務執行役員	赤尾 豊弘	監査役	高橋 慶孝
代表取締役専務執行役員	横田 健一	監査役	森本 親治
取締役常務執行役員	佐藤 友彦	監査役	柳原 克哉
取締役常務執行役員	杉山 勝浩	執行役員	小田 吉哉
取締役常務執行役員	安江 範臣	執行役員	大橋 基雄
取締役	高尾 剛正	執行役員	幡本 裕之
取締役	中村 克己	執行役員	花井 和宏
取締役	蟹澤 俊行	執行役員	久保井 伸和
		執行役員	河合 紳也

(注)1. 取締役 高尾 剛正、中村 克己及び蟹澤 俊行は、社外取締役であります。  
 2. 監査役 高橋 慶孝、森本 親治及び柳原 克哉は、社外監査役であります。

## 所有者別株式分布状況

(2018年9月30日現在)



## 株価の推移(月間終値)



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 その他必要がある時は、あらかじめ公告して定めます。
定時株主総会	毎年6月開催
公告の方法	電子公告 当社のホームページに掲載します。 <a href="https://www.inabata.co.jp/koukoku">https://www.inabata.co.jp/koukoku</a> ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部
証券コード	8098
単元株式数	100株
会計監査人	大阪市中央区瓦町三丁目6番5号 銀泉備後町ビル 有限責任 あずさ監査法人
株主名簿管理人及び 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031
(ホームページURL)	<a href="https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>

### 【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

### 【特別口座について】

株券電子化前にほふり(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

## Topics

### ■野村IR資産運用フェア2019に出展します

当社は、2019年1月11日・12日【野村IR資産運用フェア2019】[会場:東京国際フォーラム、主催:野村インベスター・リレーションズ(株)]に出展いたします。ぜひ、お立ち寄りください。

## 株主優待制度について

毎年9月30日現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主様に、下記の株主優待品を同封しております。

### ■株主優待の内容 当社オリジナルQUOカード



継続保有期間3年未満の株主様

**QUOカード1,000円分**

継続保有期間3年以上の株主様

**QUOカード2,000円分**

※継続保有期間3年以上とは…

100株以上を3年以上継続保有(9月末日、12月末日、3月末日、6月末日)の株主名簿に同一株主番号で連続記載)されている株主様をいいます。

## ホームページをリニューアルしました!

<https://www.inabata.co.jp/>

2018年7月に当社ホームページを全面リニューアルいたしました。

IR情報をEメールでお知らせするメール配信サービスも始めました。どうぞご利用ください。



トップページ



IR投資家情報ページ